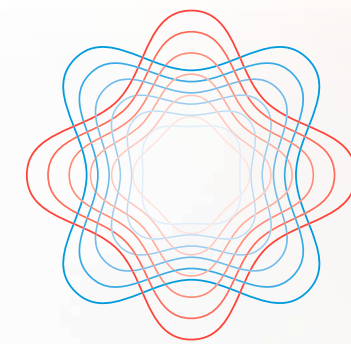




i group

NPO法人アイグループ

一人ひとりの一編を
照らし続ける。

見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



www.npo-aig.jp

代表あいさつ

Message

自立援助ホームとは、正しくは「児童自立生活援助事業」といいます。
わたしたちは福岡県、熊本県、長崎県の3県で自立援助ホームを、同県でassist room（アシストルーム）を複数箇所で開催しています。

自立援助ホームと聞くと、自立した生活を目指す場所といったような印象があるかと思います。基本的には、何らかの理由で家族を頼れない15歳から20代の方が、安心して安全な生活をする場所を提供しています。
食事があって、寝る場所があって。安心して暮らせる居場所を提供するのが自立援助ホームの大事な役割です。また、ここから巣立っていった方たちが、暮らしの中で困ったことや不安なことがあったときにも、その解決に向けてのサポートをしています。

入居者の方にはそれぞれの自室もありますが、リビングで過ごしたり、そこで食事をしながら職員と話したり、入居者同士でコミュニケーションをとったりしながら生活しています。時には、仕事や学校、恋愛、これからのことなどの相談ごとを話すこともあります。あたり前の暮らしができる場所、そして身体や心を整えて次のステップへと送り出す場所、それが自立援助ホームです。

入居している子の生活はさまざまです。
働くことを目的としている子、通学することを目的としている子もありますが、目的は定まっておらずとにかく安全に暮らせる場所を求めて、という子も多数います。
そういった子たちはまずは地域を知り、自分の居場所を知るところから始めます。それから自分がやりたいことを見つけるまで、時間をかけて過ごしています。

ひとりひとり目標ややりたいことは違います。その子に合わせたサポートをしていくのがわたしたちの役割です。そして、ホームを巣立った後にも、子どもたちがいつでも頼れる場所でありたいと思っています。

企業理念

Philosophy

私たちは、あるがままを知り、共育します
個性を尊重し、受け止めて、想いを支え、
みんなの心豊かな明日へつなげます

沿革

History

2018年	2月2日	えん開設
2019年	6月1日	ラブ開設
2020年	1月1日	庵開設
2020年	4月1日	inn開設
2020年	4月1日	LUCK開設
2021年	9月1日	テンポラリー開設
2022年	3月1日	テンポラリくまもと開設
2022年	4月1日	テンポラリ小倉北開設
2022年	11月1日	テンポラリーくまもと2号室開設
2023年	2月1日	Permit開設
2023年	10月31日	BOOK CAFE PERCH開設

ロゴマークに込めた想い

Logo Mark

中心に居るのは自分。
ひとり(アイ)をみんな(グループ)で支えながら、
少しずつ少しずつ自分を表現し世界を広げてゆく意志を表します。

相手を受け入れ包み込むことは、物事の裏と表の2つの面を受け入れることです。

赤と青の2つの相対するカラーは、矛盾を抱え割り切ることができない物事の二面性を表します。
複雑に絡まりあった紐をほどいてゆくように、自分と社会との距離感をはかりながらも外に意識を向ける姿勢を表現しています。

また、赤い線は動脈、青い線は静脈を表します。血の通った生身の人間同士での共同生活。
その環境の中で、自分らしさを見つけてもらいたい、そう願っています。

【赤から連想されるイメージ】

愛／愛情／勇気／恋／革命／活気／活動的／興奮
／緊張／自己主張／暑い／勝利／情熱／生命／
積極的／怒り／燃える／命／動脈／母性性

【青から連想されるイメージ】

デリケート／悲しみ／不安／安息／開放感／公平／
広大失望／寂しさ／信頼／清潔／精神／誠実／
知性／忠実／平和／眠り／夢／落ち着き／静脈／
男性性

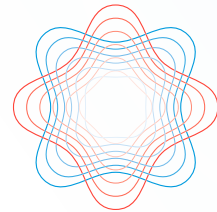
「アイグループ」を表現するフォントは、少しクセがあり表現を持つフォントを選択。
個々人のアイデンティティを認め、尊重する意思を表現します。

事業内容のご案内

Information on activities

自立援助ホーム の運営

15歳以上から退居に至るまでの
対象者へ、自立援助ホームの運営



i group
NPO法人アイグループ

assist room の運営

18歳～20代の
居場所の提供

就労場所 の提供

就労体験、仕事の提供
BOOK CAFE PERCH
の運営

個人をあるがままに受け入れます。
個人の選択を受けとめて、支援します。
個人に合わせた就労支援を行います。
できることを考えて行動します。
「ごめんなさい。と、ありがとう。」を伝えます。

自立援助ホーム

社会的養護が必要と判断した場合（当法人の場合は虐待の被害者）に対して受け入れを検討しています。
15歳以上からが対象です。児童相談所に入居許可を得られた場合には学費や医療費等の金銭的な援助を受けることができます。
細かい規則はありません。3つのやくそくごとを守って生活していただきます。
（利用料金は徴収していません。）



就労支援

アイグループでは、心身の状況により一般の就労に結び付くのが難しい方には、独自の就労へのサポートがあります。

BOOK CAFE PERCH（ブックカフェパーチ）には、「とり木」という意味があります。入居している子どもたちや巣立っていった子どもたちがふらりと立ち寄って、ほっと一息つけるような場所であれたらな、という気持ちを込めました。
また、働くことへ難しさを感じていたり、一歩踏み出せなかったりする子どもたちの「働く練習の場」になればと考えています。
カフェで就労体験をすることで、少しずつ自立に向けての心と体の準備をするサポートをしています。

カフェの業務以外にも、閉店時にはフードバンクからの寄付品の仕分け作業や、通信誌の発送作業など、それぞれの子どもたちに合わせた就労を体験してもらうことができます。



カフェの折込チラシの作成



野菜の収穫



アシスト ルーム assist room

スタッフの見守りを受けながらひとり暮らしをし、地域とつながり、自立に向けた体験をします。その中で、恩を送りたい人、恩を返したい人への気持ちが芽生えることもあるでしょう。自分と向き合い、これまでを振り返り、誰かに恩を返したい、恩を送りたいという気持ちに自然となれたとき、こころの中の傷が少しずつ癒えていくのではないかと考えます。
そして最後に決めるのは、子ども自身。自分の気持ちをたいせつに、自主性をもって思いを行動にうつせるようにアシストしていきます。

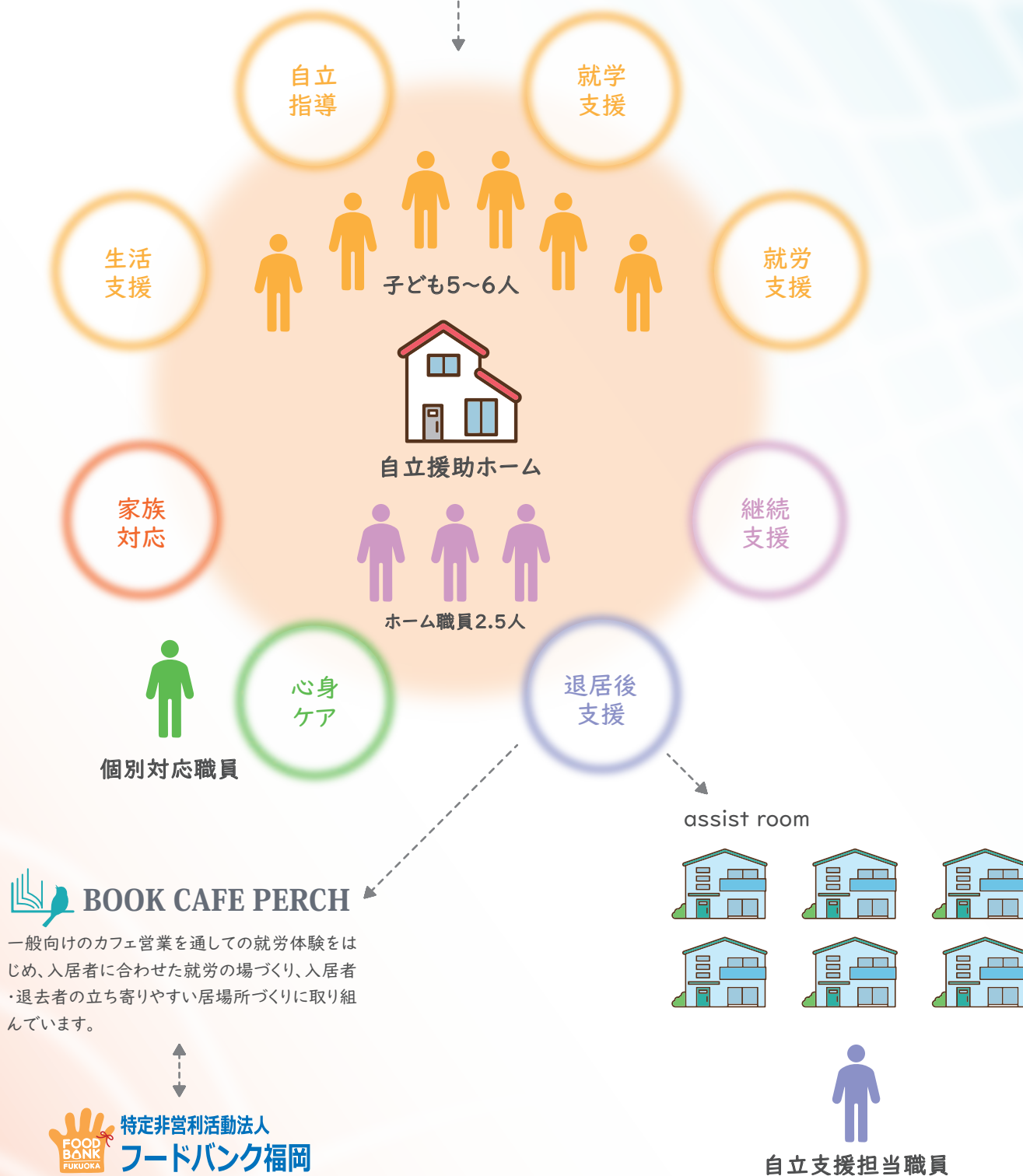
18歳以上で就労していて、職員との信頼関係がある方が対象です。
賃料30,000円を上限に法人が支援しています。水道光熱費等は個人負担です。
就労ができない方、生活保護を受給する方は対象外としています。

アイグループの支援

Igroup support

児童相談所・県庁・市役所・関係機関等との連絡調整

地域からのご相談に応じて次のような支援を提供しています。
以下のイメージは自立援助ホームを中心していますが、
BOOK CAFE、assist room、退居後の支援も取り組んでいます。

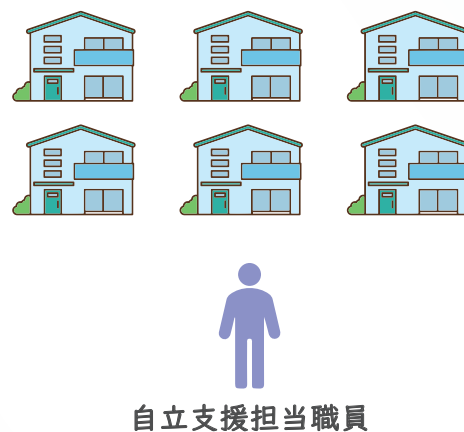


BOOK CAFE PERCH

一般向けのカフェ営業を通しての就労体験をはじめ、入居者に合わせた就労の場づくり、入居者・退去者の立ち寄りやすい居場所づくりに取り組んでいます。

特定非営利活動法人 フードバンク福岡

当法人へ寄付をいただいたものを支援対象者へ届ける取り組みも行なっています。ご協力いただける企業の皆様のご協力も募っています。



自立支援担当職員

退居後も経験豊富な職員による支援を行なっています。
20代まで途切れない支援を行うように努めています。入居中からも関わりを持ちながら信頼関係を築いていきます。

ご支援のお願い

Request for support

寄付・ボランティアの必要性について

私たちと一緒に子どもたちを支えてくださる方を募集しています。法人を頼る子の多くは金銭的援助がなく、生きづらさを感じて挫折することがあります。金銭的支援が受けられると支援者に対して感謝の気持ちが芽生えると思います。身近な大人を信頼できなくなった子どもたちが、もう一度大人を信頼するきっかけにしたいという思いから、継続的に支援を募ることを考えました。国の支援だけでは行き届かないことがありますし、制度の狭間で困り感を拭えないのが現状です。ひとりでも多くの方の目に触れてご理解いただき、子どもたちの支援につながる活動へつなぐ為にも、支援金をお願いする言葉を記載させていただきます。

1.NPO法人の会員登録

私たちはの活動を知り、想いに共感してくださった方に、
会員となっていただくことをおすすめいたします。

2.お好きな金額・タイミングで都度ご支援

基金への寄付について金額は特に制限を設けていません。

● 基金の活用事例として

- ・アルバイトや仕事をなくしてしまい1日分のアルバイト代をプレゼント→6,000円
- ・感染症や急なケガ等で就労が困難になり休業中の賃料・生活費をプレゼント→80,000円
- ・望まない妊娠でパートナーの援助を受けられず働かない期間の賃料・生活費をプレゼント(1ヶ月分)→100,000円
- ・望まない妊娠でパートナーの援助を受けられず働かない期間の賃料・生活費をプレゼント(3ヶ月分)→300,000円
- ・パートナーの援助を受けられず出産する時の費用(支度金)をプレゼント→200,000円
- ・進学費の一部をプレゼント→500,000円
- ・1年間の進学費をプレゼント→1,000,000円

3.物品などによるご支援

必要なものは、お金は人だけではありません。
みなさまにとっていらなくなったもの、
ご不要なものをぜひ私たちに提供ください。

4.講演の機会の提供

私たちの活動を多くの方に伝えたいと考えています。制度や支援が行き届かない青年期の支援の現状をお話しさせていただく機会・場所のご提供にご協力をお願いいたします。講演に係る費用は当法人で負担しています。

● ご支援の方法・流れについて

- 1.メールフォームもしくはお電で、ご支援の旨をご連絡ください。
- 2.申込み書類を送付します。
- 3.下記口座への入金をお願いします。
福岡銀行 春日支店 普通 86579 NPO法人アイグループ
- 5.ホームページ上で、クレジットカードでの寄付も受け付けております。



メールフォーム



クレジットカードでの寄付

NPO法人アイグループ情報

NPO corporation i group information

- 名称： NPO法人 アイグループ
- 役員： 理事長 國分健作
副理事長 河村智弘
監事 森慎吾
- 所在地： 〒816-0848
福岡県春日市白水池2丁目14
- TEL： 092-710-0013
- WEBサイト： www.npo-aig.jp

